

磐田市指定管理者選定等委員会

豊岡地場産品ふれあい施設 指定管理者候補者の選定結果

施設名	豊岡地場産品ふれあい施設																				
指定期間	令和8年4月1日～令和13年3月31日																				
選定団体	名称 株式会社とよおか採れたて元気むら																				
	所在地 磐田市下神増 1148 番地																				
	代表者 稲葉 昌訓																				
	設立年月 平成9年12月18日（オープンは平成10年7月12日）																				
	事業内容 地域の農産物、地場産品の販売並びに PR、地場産品ふれあい施設の維持管理																				
選定経過	<p>令和7年 7月14日（月）～ 8月1日（金） 募集要項配布</p> <p>令和7年 8月12日（火）～ 8月18日（月） 質問受付</p> <p>令和7年 8月22日（金） 質問回答</p> <p>令和7年 8月25日（月）～ 9月1日（月） 応募受付期間</p> <p>令和7年10月 2日（木） 選定等委員会</p>																				
審査内容	<p>（1）提出書類の確認 申請者から提出された申請書類について、募集要項に定める資格等を満たし、適正に記載されていることを確認。</p> <p>（2）経営診断 申請者から提出された財務関係資料をもとに経営診断を実施。安全性分析（会社の財務状態が健全かどうか）、収益性分析（会社が永続的に存続していくために適正な収益を上げているかどうか）、成長性分析（会社の業績や規模が成長しているかどうか）の観点で、選定等委員会の審査項目である「事業計画に沿った管理を安定して行う物的及び人的能力を有すること」のうち「継続的に安定した管理運営が可能な財政的基盤を有しているか。」の基準を満たしていることを確認。</p> <p>（3）プレゼンテーション及びヒアリング 実施日 令和7年10月2日（木） 会 場 磐田市役所本庁舎1階 第1会議室 プレゼンテーション（10分以内）、ヒアリング（20分程度）を申請者ごとに実施。</p> <p>（4）審査 申請書類、経営診断結果、プレゼンテーション及びヒアリングの内容を基に指定管理者選定基準（別紙）に掲げる審査項目ごとに5段階評価を行い、点数を集計して各委員の評価点とする。 委員ごとの評価点を合算したものを提案内容に対する総合評価点（委員数8人×100点＝800点満点）とし、総合評価点数が最も高い団体を指定管理者候補者に選定。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>委員名</th><th>所属・役職名</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>佐藤 知条</td><td>学識経験者</td></tr> <tr> <td>飯田 竜二</td><td>市民の代表者</td></tr> <tr> <td>山本 哲也</td><td>市民の代表者</td></tr> <tr> <td>大澤 房男</td><td>市民の代表者</td></tr> <tr> <td>鈴木 賢司</td><td>磐田市 総務部長</td></tr> <tr> <td>真壁 宏昌</td><td>磐田市 企画部長</td></tr> <tr> <td>鈴木 壮一郎</td><td>磐田市 教育部長</td></tr> <tr> <td>鈴木 一洋</td><td>磐田市 経済産業部長</td></tr> <tr> <td></td><td></td></tr> </tbody> </table>	委員名	所属・役職名	佐藤 知条	学識経験者	飯田 竜二	市民の代表者	山本 哲也	市民の代表者	大澤 房男	市民の代表者	鈴木 賢司	磐田市 総務部長	真壁 宏昌	磐田市 企画部長	鈴木 壮一郎	磐田市 教育部長	鈴木 一洋	磐田市 経済産業部長		
委員名	所属・役職名																				
佐藤 知条	学識経験者																				
飯田 竜二	市民の代表者																				
山本 哲也	市民の代表者																				
大澤 房男	市民の代表者																				
鈴木 賢司	磐田市 総務部長																				
真壁 宏昌	磐田市 企画部長																				
鈴木 壮一郎	磐田市 教育部長																				
鈴木 一洋	磐田市 経済産業部長																				
審査結果	<p>㈱とよおか採れたて元気むらは、これまでの実績、経験や培われたノウハウを基に、施設の持っている目的や性格を十分に理解し、今まで以上にその特色をフルに発揮させる事業の企画・実施、及び管理を行う能力を有している。特に魚介類の導入など新たな取り組みを検討しており、事業のさらなる発展に向けた意欲がうかがえる。</p> <p>その一方で、出荷者の減少や異常気象による生産量の変動に対応し、安定した運営体制を構築していく必要がある。</p> <p>以上、総合的に判断して、㈱とよおか採れたて元気むらは豊岡地場産品ふれあい施設の指定管理者候補者として必要な条件を満たしており、適当であるものと認める。</p>																				